

製品名: RNF14 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86475

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,FC 1:10-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW:54 kDa; Observed MW:54 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------------------|
| 遺伝子名 | RNF14 |
| 別名 | ARA54; HFB30; TRIAD2; HRIHFB2038 |
| 遺伝子 ID | 9604 |
| SwissProt ID | Q9UBS8 |
| 免疫原 | ヒト RNF14 の合成ペプチド |

背景

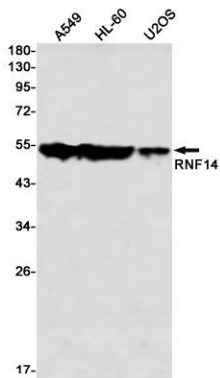
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質間相互作用に関与することが知られている RING ジンクフィンガー構造を

有する。このタンパク質はアンドロゲン受容体 (AR) と相互作用し、前立腺において AR 標的遺伝子の発現を誘導するコアクチベーターとして機能する可能性がある。この遺伝子の優性負性変異体は、AR を介した前立腺癌の増殖を阻害することが実証されている。また、このタンパク質はクラス III ユビキチン結合酵素 (E2) とも相互作用し、特定の核タンパク質のユビキチン化においてユビキチンリガーゼ (E3) として機能する可能性がある。2つの異なるアイソフォームをコードする6つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2011年1月]

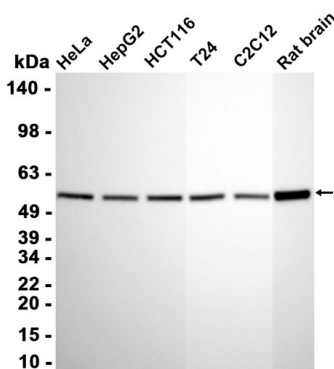
研究分野

-

画像データ



RNF14 抗体 (1:1000 希釈) を用いた A549、HL-60、U2OS 中の RNF14 のウェスタンブロット検出



AMRe86475 を 1:1000 で使用して、HeLa、HepG2、HCT116、T24、C2C12 細胞およびラット脳組織からの抽出物のウェスタンブロット分析。